

SHIRO TORI 通信

Vo.18

2018 winter

株式会社 城取建築設計事務所

今月の地元パワーは

信州そば発祥の地で、

「信州伊那谷ガレット」

ブランド化！

「信州伊那谷ガレット協議会」さん

城取設計ニュース

オススメ！この一冊

建築ニュース

建築探訪

建築設計の仕事

実録！地元のチカラ この街の企業

cafetias

営業コラム





建築 NEWS

19年テストイベントまでに施設完成

開催まで3年を切った東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会。IOCや国際・国内競技連盟（IF・NF）、政府、関係自治体も巻き込んで進められてきた会場計画見直しの内容がほぼ固まりました。

東京都が建設するのは、大会後も継続して利用することを前提とした恒設施設で、「夢の島公園」「オリンピックアクアティクスセンター」「武蔵野の森総合スポーツ施設」「海の森水上競技場」「葛西臨海公園隣接地（カヌー・スラローム会場）」「大井サッカー競技場」「有明アリーナ」の7施設。

その一つ大井サッカー競技場は、オリンピックのサッカー会場、パラリンピックの視覚障害者5人制サッカー・脳性麻痺者7人制サ



ッカーの会場として利用します。大会後は、ホッケーの振興拠点とする他、フットサルなどのスポーツでも利用できるようにします。大井ふ頭中央海浜公園内の既存の第一球技場などのエリアにメイン施設（延べ床面積約4300㎡で、約2600席の観客席を配置し大会時は仮設を含め約1万席を確保する。）

を新築し、第二球技場をサブ施設（固定席536席はそのまま、大会時は仮設で5000に増やす予定）に改修して対応します。設計は梓設計が担当しており、17年度に取りまとめて工事を発注。19年6月までに完成させる予定です。



城取設計 ニュース

建設業界の人材不足

2017年夏に調査した「建築技術者」の有効求人倍率は4.92倍（前年同月比0.82ポイント上昇）と23カ月連続の上昇となり、建設業界では深刻な建設技術人材の不足が続いています。

この背景には、東京五輪に向けて建設技術人材への旺盛な需要が続く一方、建設技術者として働きたい人は減少し続けているということがあります。

「継続発展する設計事務所」を目指す弊社にとっても人材不足は課題のひとつであり頭の痛い問題でもあります。

今年も新卒・中途に限らずリクルートに力を入れる予定でして、「リクナビ」等の求人サイトを利用したり地元企業説明会等にも積極的に参加しながら、また大学三年生に向けたインターンシップも取り入れていきたいと考えており

ます。

是非皆様の周りの方で設計事務所働きたい、転職希望者がいまして情報提供をお願いできないかと思えます。

話を聞いてみたい興味がある等々、仕事場見学ももちろん大丈夫です。気軽に遊びに来てください！！



おすすめ

この一冊

「本日は、お日柄もよく」

原田 マハ（徳間文庫）

人と人をつなぐ言葉の限りない可能性を追求していく姿に目頭が熱くなるお仕事小説

今回ご紹介する一冊は、伊藤忠商事・森ビル森美術館設立準備室ニューヨーク近代美術館勤務を経て、2002年独立後フリーランスのキュレーターとして活躍してきた人気作家・原田マハさんのベストセラー小説「本日は、お日柄もよく」です。

こちらWOWOWで連続ドラマになりました。OLの二ノ宮こと葉は、想いをよせていた幼なじみ厚志の結婚披露宴で、すばらしいスピーチに出会い、思わず感動、涙します。それは伝説のスピーチライター久遠久美の祝辞でした。空気を一変させる言葉に魅せられてしまったこと葉はすぐに弟子入り。

成長したこと葉は、「政権交代」を叫ぶ野党のスピーチライターに抜擢されます！人と人をつなぐ言葉の限りない可能性をハートフルに描いた青春小説です。人の心理や伝える事の大切さを一つ一つ丁寧に考える事の出来る本になっています。



原田マハ 著
定価・本体648円+税
発売日・2013年6月7日
形態・文庫判（381ページ）

建築探訪

ほうとう不動 — 東恋路店

富士山にかかる雲が、ふわりと降りてきたようになちよっと見たことのない斬新な建物は、山梨県南都留郡富士河口湖町に本店がありますほうとう不動の新店舗ほうとう不動東恋路店です。南に見える富士山と建物为一体となつて風景をつくっています。かまぐらのような店内は天井が高くその広さに圧倒されます。打ちっぱなしのコンクリートの壁面と天井が曲線で繋がっています。

山梨県で古くから愛されているほうとう。受け継がれてきたこちらのほうとうは具沢山でとてもシンプルな味わい、寒い冬には体が芯から温まります。

2010年にオープンして以来、河口湖の新しいランドマークとして多くの観光客が訪れる場所になっています。



特集

施工事例

創業54年を迎えた城取建築設計事務所が手がけた設計作品を紹介します

歴史と文化を後世に残し地域の魅力を発信する拠点と考え、過去から未来へつなぐ施設を作ります。

施工事例

分散拠点を
集約した
機能的な工場

建築概要

名称：(株)伊東電機
 工作所工場
発注者：(株)伊東電機工作所
所在地：長野県伊那市
構造・階数：S造・平屋
延床面積：1,996.96 m²

長野県伊那市に本社を置く、加熱・乾燥と洗浄装置の専門メーカーの本社工場では、市内に分散していた機能を一カ所に集約したいということから計画がスタートしました。

同社の製品の多くが受注生産の一点ものであり、製造する製品のサイズはその都度異なります。そのため求められたのは、あらゆる製品に対応できる

大空間。コストを抑えながらその大空間を実現するために、最適化した鉄骨構造と標準化した部材を利用するシステム建築を採用しました。

一品生産の伊東電機工作所では、工場と設計部門との連携が重要となるため、工場に隣接して事務所を配置し、一部を工場に迫り出させて大きな開口を設けコミュニケーションが取りやす



↑北西側外観 搬入出のトラックガードや室外機置場としている。将来的に倉庫や工場を拡張するスペースでもある



いデザインを提案しました。

社員のリフレッシュスペースである食堂は、南アルプスを一望できる位置に配置し、前面にはウッドデッキと植栽を配し業務の合間に気持ちを切り替えられるような空間を目指しました。

1. 南側エントランス外観 正面の壁をコーポレートカラーの青とし、温かみのある木製の袖壁を設置することでシステム建築の中に会社の顔となる部分を造っている

2. 工場内観 工程によって2つのエリアに分かれている。それぞれのエリアにホイストクレーンを設置。イニシャル・ランニングコストを抑え効率良く空調するために、天吊型のエアコン+シーリングファンとしている

3. 工場から事務室を見る 工場と事務室が視覚的に連続する。安全面に配慮して、ガラスではなく強度のあるポリカーボネートとしている





カフェタイズ
伊那市西町 5863-1
www.cafeties.com

営業時間
月～木 11:00～18:00
金～日 11:00～21:00
土曜日 10:00～18:00
日曜日 10:00～18:00

新ワッフルボールのご紹介*

1月29日から新しいワッフルが加わりました。今回のワッフルは和をテーマにしています。ワッフルと和?って思う方もいるかもしれませんが、これが結構相性バッチリなんです。抹茶・胡麻・紅茶をワッフルの生地と混ぜて香りもほんのり口いっぱいに広がります。また見た目にもこだわってお客様に提供すると「かわいい」と喜んで頂いています。是非新ワッフルを食べにきてくださいね。一つひとつ丁寧に作ります。



地元のチカラ この街の企業

実録

「信州そば発祥の地」としてPRを行っている上伊那地域に、新たな食の魅力として「信州伊那谷ガレット」が誕生しました。きっかけは上伊那観光連盟が開催した「旅づくり塾」。地域の飲食店が集まり「信州伊那谷ガレット協議会」が発足しました。現在22店が各店渾身のオリジナルメニューでおもてなしています。ガレットとは、薄く延ばして焼いたそば粉の生地を具材を包んだフランス生まれの料理。



「信州伊那谷ガレット協議会」では上伊那エリアの多くの飲食店で共通メニューとしてガレットを広め、ブランド化を目指すことで、交流人口を増やし、伊那谷の地形と栽培環境は、ブランドそばを生む潜在能力を十分に秘めているはず。そう確信し2017年に発足した「伊那谷おいしい蕎麦栽培プ

信州伊那谷ガレット協議会
(伊那市荒井)

信州そば発祥の地で、 「信州伊那谷ガレット」ブランド化!



「プロジェクト」は、「世界一の伊那谷ガレット」「世界一の伊那谷そば」を目指して、信州大学、上伊那地域振興局、上伊那農業改良普及センターと連携し、8月に種まきからスタートし、11月には親子で参加できる収穫体験イベントを開催しました。

また、「食育プロジェクト」では、小中学校の生徒たちに向けて「ガレット作り体験」を実施。子どもたちが、伊那谷の、ここしかない食の豊かさにワクワクを感じることでできる大人に育ち、近い将来、共に伊那谷を支えていく人材となるための種まきの一つとして、大きな実りがあることを願ってやみません。

代表の横顔
渡邊竜朗氏



信州伊那谷ガレット協議会
長野県伊那市荒井 3500-1 いなっせ 3F
TEL:0265-78-2500 (上伊那広域連合内)
http://www.inadanikankou.jp/

シェフがこっそり教えるガレットのコツ

伊那谷ガレット・キャラバン「第1回目」(1月～5月にかけて順次開催)が、渡邊さんのお店「kurabe」で1月28日に開催されました。ガレットを家庭の味としても広めていきたいとの思いから、難しいと感じるポイントのちょっとしたコツを参加者へ伝授しおいしい体験会が開催されました。

営業コラム



私の趣味のひとつ食べ歩き。出張の際には事前リサーチをして目的のお店をはじめていきます。そこで最近みつけたおススメのお店を紹介しちゃいます。

「ほぼ新宿のれん街」場所は代々木駅から歩いて5分くらい場所にあります。古民家7棟をリノベして作った飲食店街で、それぞれの店に特徴がありはしご酒にももってこい。古民家が醸す気兼ねない雰囲気と「外飲み楽しみ」を追求した名物や仕掛けに、7店制覇したくなるスポットとなっています。

「呑食ちようちん横丁」と銘打った店舗の業態はさまざま、シヤンパン専門店もあれば、焼き鳥やアジア屋台料理、イタリアン、もつ焼きワインバルなど、はしご酒にうってつけの名店ぞろいとなっています。

ぜひ将来、伊那谷でもこんなプロジェクトができればと考えています。

都会の片隅に、古い家屋が建ち並びまるで昭和にタイムスリップしたような懐かしい空間はとても落ち着き肩肘張らずに酒や食事を



時代の流れと共に、生活環境や価値観も変化し続けています。
 私たちは、今の時代にあった環境づくりと、そのために必要な技術の向上を目指し、
 そして、明るい未来づくりのために、今後も走り続けていきます。

城取設計は城取義直が1963年に創立した会社です。創立当初は「構造設計を持って設計する会社」が少なかったこともあり、全国レベルでの建築設計に取り組んできました。当時としては斬新な構造設計の技術などが買われ、多くの依頼を頂くようになりました。先代である城取義直は技術革新を事業コンセプトに掲げ、情報収集に尽力を費やしていました。職人さんの技術向上のために最先端のスキルや情報を惜しみなく学ばせていました。例えば、塗装の塗り方ひとつにとっても職人さんの技術向上に役立つものであれば、職人さんと一緒に現地見学に行ったりもしました。その積み重ねが確かな自信と経験を生み、会社を成長させる原動力になりました。先代の職人を大事にする気持ちが、今日の城取設計を作ったと言えます。



城取建築設計事務所のポリシー

建物を作ったという実績のみならず、仕事に対しての情熱や誠実さが評価されての実績だと、私たちは考えております。施主様の満足が続く建物を作り続けること。継続的なアフターフォローを通じて、責任を全うすること。一般建築物よりも建築基準が高い公共施設の設計技術を一般建築物にそのまま反映させる姿勢がお客様と施工者との信頼関係に繋がっていくのだと思います。妥協を許さない姿勢、費用面を含め、気軽に相談できる体制に親しみを感じていただければ、幸いです。

設計からアフターフォローまで責任を持って取り組みます

事前打ち合わせ

設計業務

監理業務

費用は掛かりません

ご相談

ヒアリング

現地調査

ご提案

設計監理契約

基本設計

実施設計

工事業者選定

工事業者決定

監理業務

竣工

アフターフォロー

株式会社 城取建築設計事務所

■創立：1963年4月1日

■代表取締役：城取健太

■資本金：1000万円

■登録：(伊那) L第2Y051号

■取引銀行：八十二銀行 伊那支店
 アルプス中央信用金庫 本店

■所属団体：(社)長野県建築士事務所協会
 (社)長野県建築士会

■事業内容

- ・ 建築・構造・設備に関する企画・設計・監理
- ・ 医療福祉施設に関する企画・設計・監理
- ・ 商業施設に関する企画・設計・監理
- ・ 環境・地域計画に関する計画・設計・監理
- ・ 建物構造調査・診断・設計・監理
- ・ 既存建物の改修・リニューアル計画・設計・監理

■本社

長野県伊那市西町 5863-1
 TEL：0265-72-7271
 FAX：0265-72-7270

